

# 陸連時報 三

2017  
平成29年

6 月号

題字は平沼亮三(初代陸連会長)の書

## 目 次

第16回世界陸上競技選手権大会(2017/ロンドン) マラソン日本代表選手メッセージ	174
強化関連情報	176
2017年シーズンの抱負(強化委員会)	
平成29年度2020東京オリンピック対策カンファレンス・専任コーチ会議報告	
第42回世界クロスカントリー選手権大会報告(男子長距離 オリンピック強化コーチ 綾部健二)	
ホクレン・ディスタンスチャレンジ2017大会要項(案)	181
JAAF公認ジュニアコーチ養成講習会 兼 日本体育協会公認スポーツリーダー	182
AAAクロスカントリー・ロードランニング委員会会議報告(国際委員会 委員 酒井勝充)	183
施設器具委員会報告(2016-3)	184
大会観戦ガイド	186
陸協NEWS	188
事務局からのお知らせ	190

## 公告

「陸連時報」は公益財団法人日本陸上競技連盟定款第4条第6号の「機関誌」の性格を有するものですが、毎月「陸上競技マガジン」と一体として発行しています。陸上競技に関する啓発記事のほか、必要に応じて、評議員会、理事会の決定事項、各専門委員会、事務局からの報告、通達も掲載いたします。本時報に掲載した通達は、公式に通達したものと取扱わせていただきますので、登録競技者は本時報の掲載内容にご注意下さい。また、陸上競技指導者の方は、所属競技者にお知らせ下さるようお願い致します。

公益財団法人日本陸上競技連盟

# 第16回世界陸上競技選手権大会(2017/ロンドン)

2017.3.24.現在

## マラソン日本代表選手

8月4日から13日までイギリス・ロンドンで開催される第16回世界陸上競技選手権大会の陸上競技。

マラソンの日本代表選手を紹介致します。

※成績記録は大会当時のもの



**井上 大仁** (いのうえ・ひろと)  
MHPS・長崎 1993/01/06生  
諫早市立飯盛中学校→私立鎮西学院高校→山梨学院大学  
世界選手権出場回数：初出場  
自己ベスト：2時間 08 分 22 秒 (2017年 東京マラソン)  
選考大会成績：2017/02/26 東京マラソン (8位・日本人1位) 2時間 08 分 22 秒

主な日本代表実績：2014年世界ハーフマラソン選手権36位

〈大会に向けての抱負〉

出るからには代表の自覚をもってメダル争いをし、これまでお世話になった方々にいい報告ができるよう頑張ります。

〈競技のココ・私のこんな姿に注目！〉

・普段は走れない道路、街中を、誰にも遮られることなく走れる爽快感。

・負けん気の強さ・きつい中での粘り。

〈練習に励む中高生に向けたメッセージ！〉

目標に向かって強い気持ちで挑んでいく姿勢を見ていただけたら嬉しいです。

〈座右の銘 (信条) /好きな言葉〉

意志ある処に道は拓ける



**川内 優輝** (かわうち・ゆうき)  
埼玉県庁・埼玉 1987/03/05生  
鷲宮町立鷲宮中学校→春日部東高校→学習院大学→埼玉陸協→埼玉県庁  
世界選手権出場回数：2大会ぶり3回目 (2017/2013/2011)  
自己ベスト：2時間 08 分 14 秒 (2013年 ソウル国際マラソン)  
選考大会成績：2016/12/04 福岡国際マラソン (3位・日本人1位) 2時間 09 分 11 秒

主な日本代表実績：2011年世界選手権マラソン18位；2012年世界ハーフマラソン選手権21位；2013年世界選手権マラソン18位；2014年 アジア大会 マラソン3位

〈大会に向けての抱負〉3度目の世界陸上なので、これまでの「経験」を活かして、日本のためにメダル獲得を目指します。

〈競技のココ・私のこんな姿に注目！〉持ちタイムだけでなく、経験や戦略も重要になってくるのがマラソンです。集団の中で私を含む各選手がどのような位置取りをしているか、余裕がありそうか、に注目してみてください。

〈練習に励む中高生に向けたメッセージ！〉私のように中高共に個人では県大会止まりだった選手でも、マラソンで世界と戦える選手になります。発想の転換をすることで、楽しく、強くなれることを感じてもらえればと思います。

〈座右の銘 (信条) /好きな言葉〉 現状打破/反復と継続



**中本 健太郎** (なかもと・けんたろう)  
安川電機・福岡 1982/12/07生  
菊川中学校→西市高校→拓殖大学→安川電機  
世界選手権出場回数：2大会ぶり3回 (2017/2013/2011)  
自己ベスト：2時間 08 分 35 秒 (2013年別府大分毎日マラソン)  
選考大会成績：2017/02/05別府大分毎日マラソン (1位) 2時間 09 分 32 秒  
主な日本代表実績：2011年世界選手権マラソン10位；2012年オリンピックマラソン6位；2013年世界選手権マラソン5位

〈大会に向けての抱負〉

過去の世界陸上では5位が最高順位です。

ひとつでも上にいけるよう頑張ります。

〈競技のココ・私のこんな姿に注目！〉

後半の粘りの走りに注目してください。

〈練習に励む中高生に向けたメッセージ！〉

学生時代は全くの無名選手でしたが、4度世界の舞台に立てました。夢を諦めない気持ちが大事です。

〈座右の銘 (信条) /好きな言葉〉

弱気は最大の敵





**安藤 友香** (あんどう・ゆか)

スズキ浜松アスリートクラブ・静岡 1994/03/16生  
海津市立日新中学校→豊川高校→愛知陸協→時之栖→スズキ浜松アスリートクラブ

世界選手権出場回数：初出場

自己ベスト：2時間21分36秒 (2017年名古屋ウィメンズマラソン)

選考大会成績：2017/03/12名古屋ウィメンズマラソン (2位・日本人1位) 2時間21分36秒

主な日本代表実績：2010年世界クロスカントリー選手権ジュニア6km 22位；2016年世界ハーフマラソン選手権10位

〈大会に向けての抱負〉海外の強豪選手と戦えるチャンスを活かして、積極的に挑戦して粘りの走りが出てくるように頑張ります。応援よろしくお願ひ致します。

〈競技のココ・私のこんな姿に注目！〉自分が最後まで諦めず粘り抜いて、少しでも多くの人に勇気と感動を与えられる走りが出てくるように頑張ります！応援よろしくお願ひ致します。

〈練習に励む中学生に向けたメッセージ！〉「諦めなければ夢は必ず叶う！」ので、自分の夢に向かって頑張ってください！

〈座右の銘 (信条) /好きな言葉〉諦めなければ夢は必ず叶う！ / Enjoy Run !



**重友 梨佐** (しげとも・りさ)

天満屋・岡山 1987/08/29生  
備前中学校→興譲館高校→天満屋

世界選手権出場回数：2大会連続2回目 (2017/2015)

自己ベスト：2時間23分23秒 (2012年大阪国際女子マラソン)

選考大会成績：2017/01/29大阪国際女子マラソン (1位) 2時間24分22秒

主な日本代表実績：2012年オリンピックマラソン79位；2015年世界選手権マラソン14位 (大会に向けての抱負)

経験を活かした走りをしたい！

〈競技のココ・私のこんな姿に注目！〉

最後まで粘り諦めない所を見て欲しい！

〈練習に励む中学生に向けたメッセージ！〉

なりたい自分をしっかり見据えて、そこに近づく事を楽しんで欲しい！

〈座右の銘 (信条) /好きな言葉〉

大器晩成



**清田 真央** (きよた・まお)

スズキ浜松アスリートクラブ・静岡 1993/09/12生  
福江中学校→中京大附属中京高校→スズキ浜松アスリートクラブ

世界選手権出場回数：初出場

自己ベスト：2時間23分47秒 (2017年名古屋ウィメンズマラソン)

選考大会成績：2017/03/12名古屋ウィメンズマラソン (3位・日本人2位) 2時間23分47秒

主な日本代表実績：2015年アジア選手権5000m 4位

〈大会に向けての抱負〉今回世界に挑戦できるチャンスを頂いたので、このチャンスをいかせるよう粘りの走りでもメダル獲得を目指します。

〈競技のココ・私のこんな姿に注目！〉マラソンは練習の積み重ねがちゃんと出る・出せる種目だと思っています。1つでも自分の課題を克服することにより今までの地道な努力が報われ、発揮できるのが魅力です。フォームが大崩れしないこと・持久力に関しては自分の強みです。

〈練習に励む中学生に向けたメッセージ！〉積極的に先頭につきゴールするまで前だけをみて走っているところ、最後の最後まであきらめず粘り抜くところをみていただきたいです。

〈座右の銘 (信条) /好きな言葉〉“やればできる”・“自分らしく”です。



# 2017年シーズンの抱負

強化委員会

## トラック&フィールド/競歩 (TOP8ターゲット)

男子800m オリンピック強化コーチ 松井 一樹

男子800mはロンドン五輪、リオ五輪と2大会連続出場を果たしている。そして新強化体制の下、東京五輪では出場レベルから世界と勝負するレベルへ引き上げるべく、TOP8ターゲットのカテゴリーに入り、果たすべき役割は大きいと考える。

現時点では日本記録保持者の川元奨選手(スズキ浜松AC)を重点強化選手に絞り、東京五輪でのファイナルを目標に残された期間を逆算して強化に繋げる。

その中で2017年度は日本記録(1'45"75)の更新と、ロンドン世界選手権準決勝進出を目標に掲げ、現時点でアルパカーキでの高地合宿、海外レース(Mt.Sac relays)派遣等を実施してきた。国内では静岡国際・ゴールデングランプリ川崎においてペースメーカーの設定を予定しており、高速レースの機会を作り日本記録更新に挑戦する。そして最終的にロンドン世界選手権へと繋がるシーズンとしていきたい。

また川元選手に続く選手の強化として、1分46秒台等の一定水準の記録に達した選手は今後重点強化選手の追加を検討する。

男子110mH オリンピック強化コーチ 櫻井 健一

4年に1度の集大成であったリオ・デ・ジャネイロ五輪が終了し、2020年東京五輪に向けて新たなスタートとなりました。今年度から110mHのオリンピック強化コーチとして強化の担当をさせていただきます。東京五輪でのファイナリスト育成を目指して全力で強化活動に邁進していきます。

2017年度はロンドン世界陸上競技選手権が最大目標となります。東京五輪でのファイナリストを目指すにはロンドン世界陸上に於いて2~3名出場、そして準決勝進出が具体的な目標となります。110mHの日本国内のレベルは確実に上がってきており。その成果として矢野航選手(デサントTC)が13秒47という日本歴代3位の記録をマークして2大会ぶりに五輪出場を果たしました。

その他にも13秒5台で走る選手が3名おり確実に層は厚くなってきています。あとはその層を1ランク上のレベルに到達させることと海外での経験を積んでいくことで世界と戦えるレベルを目指したいと考えております。目線を世界に向けて強化を進めていく所存であります。宜しくお願いたします。

男女3000mSC オリンピック強化コーチ 岩水 嘉孝

東京オリンピック向け、種目別細分化により、これまでの長距離という枠組みから離れ、より専門性をもって出来ればと思う。

昨年のRioオリンピックでは、若手の活躍が目立った。近年、停滞していた3000mSCであったが、2009年ベルリン世界選手権以来、実に7年ぶりに日本人の選手が世界大会のスタートラインに立った。停滞期から僅かな光

が差し込んで来たと感じる一方、一步間違えれば、この7年間の不出場という渦に逆戻りとなる可能性はあるという危機感を感じている。

2017年の最大の国際競技会は8月にロンドンで行われる世界選手権であろう。特に中・長距離種目は気候条件やレース展開によって記録を出す事がシビアな種目になる為、世界大会への出場資格記録突破が鍵になるだろう。

国際大会で活躍できる選手を育成する為に、国内で競争力を高め、活性化させる事、ターゲットとする選手の専任コーチとの連携によって、東京オリンピックへ向けた強化を経年的に図っていきたい。

男子走幅跳 オリンピック強化コーチ 森長 正樹

2017年は世界選手権がロンドンで、アジア選手権がインドで開催される。

世界選手権の参加標準記録は8m15cmである。昨年は標準記録突破者が出ず、リオ五輪への派遣は無かった。2017年の男子走幅跳ブロックの目標は、「1.世界選手権への選手派遣」、「2.アジア選手権でのメダル獲得」、「3.ランキング上位3名以上が8mを越えること」である。

グランプリシリーズは織田記念から始まるが、昨年度は三段跳で好記録が出ているコンディションの良い大会であるので、複数名の8m突破と世界選手権参加標準記録に迫る結果を期待している。

アジア選手権では、近年アジアのレベルが向上しており、メダル争いには8m10cm以上が必要と考えられるため、シーズン前半に8m以上を記録し、良い状態で挑むことができれば上位入賞も期待できる。

今年が4年後の東京五輪に向けて、良いシーズンとなることを期待する。

男子三段跳 オリンピック強化コーチ 杉林 孝法

男子三段跳のオリンピック強化コーチを務めることになりました杉林孝法です。中長期目標としては2020東京五輪での入賞と強い三段跳の復活を目指し、藤林献明強化スタッフとともに強化を進めてまいります。

2016年シーズンはリオ・デ・ジャネイロ五輪に長谷川大悟選手、山下航平選手の2名が出場し、男子三段跳に勢いが生まれました。2017年シーズンはアジア選手権と世界陸上が2大目標大会となります。台頭する中国に迫っていくことが世界で戦うために不可欠と考え、アジア選手権で優勝することをシーズン前半戦の目標としています。4月初旬の陸連オーストラリア遠征で16m61の好記録を出してシーズンインした山本凌雅選手が好調であり、世界陸上ロンドン大会の参加標準記録(16m80)を狙える位置にきています。国内大会ではリオ出場組とのハイレベルな争いを期待したい。世界陸上に向けては、まずリオ五輪同様に複数名の選手を送り出すことを目指し、万全の準備を整えていきたい。

男子走高跳 オリンピック強化コーチ 吉田 孝久

2020年の東京オリンピックに向けた新体制となり、

男子走高跳の担当となりました。

男子走高跳は、北京の世界陸上には3名が出場しましたが、リオデジャネイロオリンピックでは衛藤崇（AGF）のみの出場にとどまりました。世界のレベルに近づくためには、もう一度世界大会に複数名が出場し、東京オリンピックまでには世界陸上での決勝進出、そして入賞を目指したいと考えています。

さて、今年のロンドン世界陸上に向けてはまずは標準記録を突破することが目標ですが、先日競技会で衛藤選手が2m30の参加標準記録をクリアし幸先の良いスタートを切りました。また、前回の世界陸上代表の戸邊直人（筑波大学ツイン・ピークス）も室内競技会で2m26を跳び好調で、これから本格的に始まる屋外シーズンで記録突破を狙っています。これらに加え、佐藤凌（東大印刷）、前回の北京世界陸上代表の平松祐司（筑波大）、松本修一（福岡大）など若手選手の活躍にも期待したいと考えています。

春季サーキットでは静岡国際陸上と川崎ゴールデングラブりでこの種目が行われます。ここから世界に向けた一歩を踏み出して欲しいと思います。

#### 男子十種競技 オリンピック強化コーチ 松田 克彦

一昨年の北京世界陸上、昨年のリオ・オリンピックに右代、中村両選手が出場し、世界への挑戦をする構図は出来てきた。しかし、世界で戦うという準備は、まだ不足しているのが現状である。今シーズンは、両名ともに初めて8100点の標準記録を突破した状況でシーズンを迎えることになる。当然、本年度も標準記録をマークして代表を確実にしていくことは大切であるが、右代選手は、前半3種目（100m-走幅跳-砲丸投）の合計点の目標値を意識し、自己記録を1点でも多く更新して世界陸上に向かいたい。中村選手は、本格的なシーズンインを5月にオーストリアのゲッチスで行われる、国際混成GPに定め、世界陸上の前哨戦として、自分の実力の位置、競技の修正点をしっかり積み上げていく挑戦となる。そのために、入賞ラインの8300点以上のパフォーマンスをそれぞれの特徴を活かしてどのような構成で得点し、いつでも近い点数をとれるようにすることを課題としていきたい。加えて両名以外の選手が春先から3番目の代表を目指す展開を期待する。

#### 男子400m、男子4×400mR

##### オリンピック強化コーチ 苅部 俊二

男子400mは、昨年南アフリカのバンニーキルク選手がマイケル・ジョンソンの43秒18を0秒15更新する43秒03の世界記録をマークし、いよいよ42秒台に到達しそうな領域にまで達してきた。しかしながら、日本では1991年にマークされた44秒78の日本記録はおろか、44秒台にも届かない状況が長く続いており、世界との差は開く一方である。2020年東京オリンピックを見据え、この状況を打破すべく強化を推し進めていかねばならない。その強化の中心は昨年日本選手権を制し、リオ・オリンピックに日本代表として出場したウォルシュ・ジュリアン選手（東洋大学）、さらにリオ・オリンピックに4×400mリレー日本代表選手らである。また、200mか

ら400mへのトランスファーも積極的に検討する。4×400mリレーにおいては、昨年リオ・オリンピックに出場を果たした実績はあるが、予選敗退という結果に終わり、世界と勝負できているとは言い難い。2020年東京オリンピックで上位をうかがうためにも2017年ロンドン世界選手権では8位入賞を目標としたい。

#### 女子リレー オリンピック強化コーチ 瀧谷 賢司

女子リレー種目は今回の強化体制ではTop8ターゲットというカテゴリーに位置付けられ、東京五輪に向けて女子短距離界をさらに発展させ、悲願の世界大会入賞を目指していかなければならない。強化方針として、個人での標準記録突破者数を増やし、福島選手に続くリレーの核となる選手を育成することに主眼を置く。これまでは上位4名に入る＝リレーメンバー入りという態勢であったが、ナショナルチーム目標記録\*をクリアした選手でチームを編成し、個の力を高めた形で世界に立ち向かっていく態勢にしたい。リレーありきでまず人を集める強化方法ではなく、ナショナル目標記録を設定し、選手の意識を変えるところから積み上げていきたい。ついては、個々のレベルアップを図るためには専任コーチの方々にもナショナルチームに関わって頂くことが不可欠と考えている。ご指導、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。  
※ナショナルチーム目標記録 100m11秒55、200m23秒50、400m53秒10

#### トラック&フィールド/競歩（ワールドチャレンジ）

#### 男女中距離 オリンピック強化コーチ 小林 史和

中距離ブロックは、国内における記録水準の引き上げと、アジア選手権での優勝を最大目標とし、一つでも多くの国際大会の経験を積んでいきたい。男子1500mは、戸田（日清食品）、松枝（富士通）、楠（小森コーポレーション）など実業団ランカーを中心に、遠藤、田母神、河村といった若手の成長にも期待がかかる。日本記録更新と、一人でも多くの3分40秒きりの可能性を大いに感じている。女子800mは記録の低迷が続いているが、何とかこの殻を脱したい。第一人者のいない状況ではあるが、誰かがこの殻を抜け出すことで記録はぐっと引き上げられると考えられる。そのためには目的を明確にした強化と、定期的な記録挑戦会等の実施も必要であろう。女子1500mも同様に、長距離種目を兼ねた選手がほとんどであることから、それぞれの所属チームには中距離への理解と強化、取り組みをお願いしたい。今シーズンは東京五輪へ向け、主軸となる選手の発掘と育成の方向性を図っていきたい。

#### 女子ハードル オリンピック強化コーチ 前村 公彦

女子ハードル（100mHおよび400mH）は、ワールドチャレンジにカテゴリー化されており、インド（ブパネーシュワル）で開催されるアジア選手権を最重要競技会と考えている。アジアチャンピオンとなった場合は、世界選手権参加標準記録と同等の価値とされるため、この路線で世界にチャレンジしていく。しかし、100mHにおいては、日本記録まであと少しのパーソナルベストを持つ木村文子（エディオン）および紫村仁美（東邦銀行）のベテラン勢を中心に、中堅どころの青木益未（七十七銀行）や相馬絵里子（スターツ）らにも日本記録の更新、

さらには世界選手権参加標準記録の突破も可能性は充分あると考えている。400mHにおいては、日本記録保持者の久保倉里美の引退により世界との差が開いたのは否めないが、青木沙弥佳（東邦銀行）、吉良愛美（アットホーム）、梅原紗月（住友電工）などを中心に、アジア選手権での優勝を本年度の最大目標とし、世界選手権への出場権を獲得できればと考えている。

#### 男女投てき オリンピック強化コーチ 等々力 信弘

主要選手からは、順調に冬期トレーニングを消化できていると報告を受けているので、アジア選手権や、自己記録の更新に向け、それぞれの選手の活躍に期待したい。

砲丸投においては日本記録保持者の畑瀬選手に記録更新と19m台の記録を、また畑瀬選手に続くランキング上位選手に18m台を期待したい。女子選手では昨年、郡選手、太田選手の2名が16m台の記録をマークしており注目したい。

円盤投は、最古の日本記録を突破する事に合わせて、複数名がこの記録を突破することに期待し、女子選手では、坂口選手、郡選手、中田選手この3名を中心に55m突破を目指してほしい。

ハンマー投については昨年、柏村選手、保坂選手の2選手が70m台を投げ、67m以上を7名の選手がマークしており、複数名選手が70m以上を投げる試合を今シーズン期待したい。女子選手では、昨年66m79をマークしている渡辺選手に日本記録を超える記録と70m台の記録を期待したい。

#### 女子跳躍、女子七種競技

##### オリンピック強化コーチ 伊藤 信之

ワールドチャレンジカテゴリーの女子跳躍・7種競技では、まずアジアの試合で実績を残していくことが求められているが、東京オリンピックでの入賞、ロンドン世界陸上を目指し、日本記録を更新していくという取り組みを行っている有望な選手も多い。走高跳では、若手に有望の選手が多く、棒高跳と同様アジアから世界につなげるその先が見えてくる状況にしていきたい。走幅跳は、甲斐、中野、末永、清水らが、順調に冬期練習を積み、満を持して新シーズンに挑む。三段跳では宮坂が日本記録の更新を狙える状況になってきており、アジア選手権の優勝と世界選手権の出場を目指している。七種では、アジア選手権大会2名の出場で優勝と3位以内を目指す。アジア選手権優勝もしくは標準記録突破により世界選手権に出場することを目標としている。目標を達成するための見通しやステップを明確にし、チャンスを最大限に生かしていけるよう万全の体制でバックアップして行きたいと考えている。

#### 長距離・マラソン (TOP8ターゲット)

##### 男子長距離 オリンピック強化コーチ 綾部 健二

2020年東京五輪の目標は、10000m 8位入賞・5000m決勝進出である。2008年～2016年に行われた五輪3大会と世界選手権4大会、計7回の世界大会で10000mの最高順位は15位、5000mで決勝に進んだ選手はいない。五輪までに残された期間は3年余りと短い、この厳しい現実を直視し課題を克服することで世界に追い付き、

目標を達成したい。

そこで、2017年シーズンはスピードに主眼を置いた強化を行う。昨年のリオ・デ・ジャネイロ五輪において目標とする順位の選手を見てみると3000mのPBは日本記録と同等かそれ以上である。日本陸連の強化合宿等でスピード強化に取り組むことは勿論だが、ゴールデングランプリやホクレンディスタンスチャレンジにおいて新たに3000mを実施する。

5000mの日本選手権標準記録にも3000mのタイムを設定した。

積極的に3000mへ出場し、記録に挑戦することでスピード強化を図ってもらいたい。

今夏はロンドンで世界選手権が開催されるが、1名でも多くの選手が出場し世界を経験することで、東京五輪への足掛かりとしてもらいたい。

#### 強化育成

##### U20 オリンピック強化コーチ 杉井 将彦

今年はアジアユース選手権とU18世界選手権が開催される。アジアユース選手権（タイ・バンコク）は個人種目の派遣を重視し、戦略的な国際競技会派遣にも配慮していきたい。またU18世界選手権（ケニア・ナイロビ）はU18カテゴリーでの世界大会としては今回が最後の大会となる。前回大会（コロンビア・カリ）と同等のメダル数5個以上を目標とし、過去最高成績を収めることを目指したい。強化育成は昨年までのU23とU19のオリンピック育成競技者の区分を統合し、U20オリンピック育成競技者とした。これは課題であった高校卒業から大学1年生への連続性を図り、U18世界選手権、U20世界選手権からシニアの国際大会へと意識付けをしていくことを目的としている。そして目標実現のためにも中体連、高体連、学連との連携・協力・連絡を強化し育成システムに関する情報を共有することで、理想とする強化システムを浸透させていきたい。

#### ダイヤモンドアスリート

##### プログラムマネージャー 朝原 宣治

昨年度にダイヤモンドアスリート プログラムマネージャーを拝命致しました朝原です。

世界で戦える次世代トップアスリートの「原石」の育成に関わらせていただく喜びと同時に責任を感じております。プログラムの一部に参加させていただき、アスリートたちの可能性を強く感じました。また反対に未熟さも垣間見え、そこに伸びしろも感じました。この選手たちにとって何が必要でどんな経験をしてもらったら彼らが持つ力を最大限に引き出すことができるのかを考えて、これまでの固定観念にとらわれずに新たなチャレンジをしていきたいと思っております。

今シーズンにはU18世界陸上選手権大会やユニバーシアード大会、また世界陸上選手権大会が開催されます。個々の将来を見据えた計画に沿って、国内の大会のみならず、これら上記の国際大会への出場を目指し、様々な経験を積んで自己のレベルを上げていって欲しいです。育成の成果が出るよう尽力したいと思いますので、よろしくお願い致します。

# 平成29年度2020東京オリンピック対策カンファレンス・専任コーチ会議報告

強化委員会

## 〈専任コーチ会議〉

期日：平成29年4月6日（木）11：00～15：30

会場：味の素ナショナルトレーニングセンター研修室1・2

参加者：強化競技者・強化対象競技者の専任コーチ

内容：2～4については、強化競技者・強化対象競技者と合同で実施。

### 1. 2017年度強化方針について

- 伊東委員長から以下の点について説明があった。
  - ・新強化体制について
  - ・強化方針（ロンドン世界陸上競技選手権大会および東京オリンピックに向けた強化方針）
  - ・ロンドン世界陸上競技選手権大会までのスケジュール
  - ・ロンドン世界陸上競技選手権大会日本代表選考要項

### 2. アスリートとスポンサーシップ

- ・日本陸連の予算の内訳などを参考資料として、選手の強化に使われているお金の多くがスポンサーなどからの協賛金によって賄われていることに理解が求められ、スポンサーへの配慮が求められた。

### 3. 強化競技者・強化対象競技者の指定と処遇について

- ・カテゴリ毎の指定基準や味の素NTCおよびJISSの利用条件等について確認された。

### 4. 種目別ミーティング

- ・種目に分かれて各専任コーチとオリンピック強化コーチとの間で、選手の状況や世界選手権に向けた選考の方法などについてミーティングが開かれた。

## 〈2020東京オリンピック対策カンファレンス：1日目〉

期日：平成29年4月6日（木）13：30～16：30

会場：味の素ナショナルトレーニングセンター大研修室

参加者：強化競技者・強化対象競技者（詳細は表に記載）

内容：

### 1. 新強化体制について

### 2. 2017年度強化方針について

- 伊東委員長から以下の点について説明があった。
  - ・強化方針（ロンドン世界陸上競技選手権大会および東京オリンピックに向けた強化方針）
  - ・ロンドン世界陸上競技選手権大会までのスケジュール
  - ・ロンドン世界陸上競技選手権大会日本代表選考要項

### 3. アスリートとスポンサーシップ

- ・事務局の大嶋事業部長より、日本陸連の予算の内訳などを参考資料として、選手の強化に使われているお金の多くがスポンサーなどからの協賛金によって賄われていることに理解したうえで、スポンサーへの配慮が求められた。これまでに問題となった事例についても具体的に示された。

### 4. アンチ・ドーピング関連情報について

- ・医事委員会の山澤委員長に、昨今問題となっているアンチ・ドーピング関連の事例について説明があり、競技活動において注意が必要な事象について理解が求められた。

### 5. 日本陸連強化競技者について

- ・平野事業部課長から強化競技者の規程および標準記録等について説明があった。

## 〈2020東京オリンピック対策カンファレンス：2日目〉

期日：平成29年4月7日（木）9：30～13：00

会場：味の素ナショナルトレーニングセンター大研修室

### 6. ロンドン世界陸上競技選手権大会事前合宿地情報について

- ・平野事業部課長より、事前合宿地についての説明があった。

### 7. リオデジャネイロ五輪の振り返りについて

- ・専任情報・科学スタッフの高橋氏より、リオデジャネイロ五輪の結果からアナリストとしての観点での反省が行われた。

### 8. 反社会勢力の脅威について

- ・警視庁オリンピックパラリンピック競技大会総合対策本部管理官兼組織犯罪対策第三課の南崎警視をお招きし、スポーツ界に及び得る反社会勢力の脅威および注意事項や対策について講演いただいた。

### 9. JADA研修

- ・RTPAを主に日本アンチ・ドーピング機構（JADA）の大黒氏に研修を行っていただいた。

### 10. 海外渡に係る注意事項について

- ・東武トップツアーズ添乗員の二村氏に海外渡航についての注意事項を具体的な事例を添に説明いただいた。

### 11. アスリート委員会より

- ・アスリート委員会の委員長である高平氏より、2016年度の活動報告及び2017年度の活動計画を説明いただいた。特に、2017年度は、JOCにもアスリート委員会が設置され、本格的な活動が行われる。現在陸連のアスリート委員会の委員である澤野氏が立候補する報告も行った。

### 12. 味の素NTC、国立スポーツ科学センター（JISS）の利用について

- ・2017年度より、NTC専任コーチングディレクターに東中氏が就任した。平野事業部課長及び東中氏による、NTC、JISS利用方法についての説明が行われた。昨年度からの大きな変更点としては、NTCのセキリティーカードを取得する際、事前にJOCより発行される入館証が必要となる。

表 強化競技者・強化対象競技者

種目	氏名	所属
男子 100/200m	桐生 祥秀	東洋大学
	ケンブリッジ 飛鳥	Nike
	大瀬戸一馬	安川電機
	高瀬 慧	富士通
	藤光 謙司	ゼンリン
	原 翔太	スズキ浜松 AC
	谷井 孝行	自衛隊体育学校
	荒井 広由	自衛隊体育学校
	小林 快	ビックカメラ
	丸尾 知司	愛知製鋼
男子競歩	藤木 隼人	自衛隊体育学校
	高橋 英輝	富士通
	藤澤 勇	ALSOK
	鈴木 雄介	富士通
	西塔 拓己	愛知製鋼
	山西 利和	京都大学
	岡田久美子	ビックカメラ
	五藤 怜奈	中部学院大学
	野澤 啓佑	ミズノ
	澤野 大地	富士通
男子400mH	山本 聖途	トヨタ自動車
	新井 涼平	スズキ浜松 AC
	長谷川 隼平	大体大 TC
	ディーン 元気	ミズノ
	小南 拓人	国士館大学
	中嶋 善寛	埼玉医科大学 AC
	海老原有希	スズキ浜松 AC
	宮下 梨沙	大体大 T C
	斉藤真理菜	国士館大学
	森 友佳	東大阪市陸協
男子棒高跳	山内 愛	大阪成蹊大学
	加藤 紳	九電工
	木村 友香	ユニバーサルエンターテインメント
	佐々木 悟	旭化成
	石川 末廣	Honda
	丸山 文裕	旭化成
	深津 卓也	旭化成
	設楽 悠太	Honda
	山本 浩之	コニカミルタ
	田中 智美	第一生命グループ
女子競歩	小原 伶	天満屋
	清田 真央	スズキ浜松 AC
	岩出 玲華	ノーリツ
	伊藤 舞	大塚製薬
	堀江 美里	ノーリツ
	安藤 友香	スズキ浜松 AC
	ウォルシュ ジュリアン	東洋大学
	金丸 祐三	大塚製薬
	田村 朋也	住友電工
	北川 貴理	順天堂大学
小林 直己	セゾン情報システムズ	
女子 100/200m	藤原 武	ユメオミライ
	齋藤 愛美	倉敷中央高校
	川元 爽	スズキ浜松 AC
	矢澤 航	テサント
	増野 元太	ヤマダ電機
	濱滝 大記	富士通
	山口 浩勢	愛三工業
	三郷実沙希	スズキ浜松 AC
	右代 啓祐	スズキ浜松 AC
	中村 明彦	スズキ浜松 AC
男子110mH	山川 夏輝	日本大学
	小田 大樹	日本大学
	橋岡 優輝	日本大学
	山下 航平	筑波大学
	長谷川大徳	横浜市陸協
	戸邊 直人	つくばツインビークス
	平松 祐司	筑波大学
	松本 修一	福岡大学
	村山 結太	旭化成
	鐘坂 哉哉	旭化成
男子3000mSC	大六野秀敏	旭化成
	戸田 雅稀	日清食品ホールディングス
	市川 孝徳	日立物流
	丸山 文裕	旭化成
	深津 卓也	旭化成
	設楽 悠太	Honda
	山本 浩之	コニカミルタ
	田中 智美	第一生命グループ
	小原 伶	天満屋
	清田 真央	スズキ浜松 AC
男子10種競技	岩出 玲華	ノーリツ
	伊藤 舞	大塚製薬
	堀江 美里	ノーリツ
	安藤 友香	スズキ浜松 AC
	ウォルシュ ジュリアン	東洋大学
	金丸 祐三	大塚製薬
	田村 朋也	住友電工
	北川 貴理	順天堂大学
	小林 直己	セゾン情報システムズ
	藤原 武	ユメオミライ
男子走幅跳	齋藤 愛美	倉敷中央高校
	川元 爽	スズキ浜松 AC
	矢澤 航	テサント
	増野 元太	ヤマダ電機
	濱滝 大記	富士通
	山口 浩勢	愛三工業
	三郷実沙希	スズキ浜松 AC
	右代 啓祐	スズキ浜松 AC
	中村 明彦	スズキ浜松 AC
	山川 夏輝	日本大学
男子三段跳	小田 大樹	日本大学
	橋岡 優輝	日本大学
	山下 航平	筑波大学
	長谷川大徳	横浜市陸協
	戸邊 直人	つくばツインビークス
	平松 祐司	筑波大学
	松本 修一	福岡大学
	村山 結太	旭化成
	鐘坂 哉哉	旭化成
	大六野秀敏	旭化成
男子走高跳	戸田 雅稀	日清食品ホールディングス
	市川 孝徳	日立物流

# 第42回世界クロスカントリー選手権大会報告

男子長距離 オリンピック強化コーチ 綾部 健二

1. 大会日時 2017年3月26日(日)  
 14:30 U20女子 5855m  
 15:10 U20男子 7855m  
 15:55 シニア女子 9855m  
 16:55 シニア男子 9855m
2. 大会開催地 ウガンダ・カンバラ
3. 派遣期間 2017年3月21日(火)～3月28日(火)8日間
4. 日本選手団 30名(役員10名・選手20名)
5. 大会結果 別表

## 6. 総括 (1) 目標・評価

### ① U20女子

団体3位と個人での入賞を目標に6名の選手が出場した。高松選手の15位が最上位であったが、猿見田・鈴木・加世田の3選手も20位前後でまとめ団体4位と健闘した。エチオピア、ケニアに続く第3位には開催国のウガンダが入った。

### ② U20男子

ケニア・エチオピア以外の国と競い合い、団体に上位入賞することを目標に5名の選手が出場した。トラック競技の記録では他国に劣らないものの、クロスカントリーにおいては走力の差を露呈する形となった。記録のみならず、強さ・タフさを身に付ける必要があると感じる結果であった。日本人最上位は西山選手の28位、団体は7位だった。

### ③ シニア女子

前回大会までの8000mから10000m(正式距離9855m)に距離が伸びたシニア女子は団体6位を目標に4名の選手が出場した。団体戦は上位4名の順位をカウントするため1人も最後まで気を抜けない状況の中、責任感を持ってスタートした。スタート直後からアフリカ勢にスピードの違いを見せ付けられる形となり序盤は出遅れたが、それぞれが徐々に順位を上げ、堀選手が23位の日本人最上位でゴール、団体は11位だった。

### ④ シニア男子

12000mから10000m(正式距離9855m)へと距離が変更になったシニア男子には団体10位を目標に5名の選手が出場した。山口選手がスタートから積極的に攻めの姿勢を見せ日本人の先頭を走ったが、2k地点では70位辺りと厳しい展開になった。1周目を抑え気味に入った東選手が2周目以降から順位を上げ続けたが65位でのゴール、団体は15位に終わった。戦前の予想以上に世界との差は大きかった。

## (2) 所感

現地までの移動は成田空港からアブダビ空港まで12.5h、乗り継ぎに3.5h、アブダビ空港からウガンダ・エンテベ空港まで5.5h、空港から宿舎まで1.5hと約1日を要した。集合場所である成田空港までの移動を含めれば1.5日近くを要した選手もあり、移動による疲労は大きかった。

現地では宿舎から会場まで約1kmと近く、調整練習等については不自由なく行えた。事前情報では治安の悪さなどが心配されたが、比較的安定した地域であり問題は生じなかった。宿舎は選手村であったが洗濯機が無く、周辺にもコインランドリーが無かったため衣類は全て手洗いとなった。また、シャワーのお湯が出ず冷たい水で身体を洗う日もあった。感染症を予防するため水道水は飲まず、食べ物も火の通っている食材のみを口に、最善の注意を払って大会に備えた。

レースでは全てのカテゴリーにおいて、スタート直後からアフリカ勢の作るハイペースに対応できず、出遅れる内容となった。コースについても激しいアップダウンや急カーブが多く、また1周2kのコース内に2ヵ所の丸太障害と1ヵ所の大きな堀が配置されるなど、走力が求められる厳しいコースだった。この

ようなタフなコースを走り切る力を付けるためには、日頃から起伏や不整地などを積極的に走り、脚筋力や基礎体力を高める必要があると感じた。また、開催地の標高が1190mの準高地であったため、背中の張りなどを訴える選手が多く、呼吸筋を含めた順化不足があったと考えられる。シニア男子については、大会前にJISS低酸素室を利用して10日間の合宿を行ったが、高地順化に十分な効果があったとは言えなかった。

今大会から男女各2名(1チーム4名×2km)のミックスリレーが新種目として追加された。日本チームはエントリーしなかったが、ケニアからはKIPROP、エチオピアからはDIBABAが出場するなど1500mのワールドクラスが顔を揃えた。日本も中距離種目強化のために次回大会からの出場をお願いしたい。クロスカントリーは心肺機能や筋力の強化、スピードの切り替え、効率の良いフォーム獲得など多くの効果が期待できる。しかし日本においては身近に適切な環境がないなどの理由で積極的に取り組まれている。次回の世界クロスカントリー選手権大会は東京オリンピック前年の2019年に開催される。トレーニングにクロスカントリーを多く取り入れ今回を上回る成績を残すことで、東京オリンピックへの弾みとしたい。

表 強化対象競技者

U20女子 5855m (エントリー 104名)			
高松 智美ムセンビ	大阪薫英女学院高校	15位	20:24
猿見田裕香	豊川高校	17位	20:28
鈴木 翼夏	常葉菊川高校	19位	20:40
加世田梨花	成田高校	22位	20:51
樺沢和佳奈	常盤高校	31位	21:20
大西ひかり	須磨学園高校	49位	22:05
団体 4位			
U20男子 7855m (エントリー 106名)			
西山 和弥	東京農業第二高校	28位	25:15
酒井 耀史	須磨学園高校	38位	25:41
千明龍之佑	東京農業第二高校	43位	25:51
清水 颯大	洛南高校	52位	26:11
吉田 圭太	世羅高校	79位	27:23
団体 7位			
シニア女子 9855m (エントリー 104名)			
堀 優花	パナソニック	24位	34:54
一山 麻緒	ワコール	40位	35:52
佐々木文華	第一生命グループ	60位	37:02
森田 香織	パナソニック	81位	38:24
団体 11位			
シニア男子 9855m (エントリー 146名)			
東 遊馬	九電工	65位	31:31
山口 浩勢	愛三工業	73位	31:49
大塚 倭	神奈川大学	92位	32:28
大野 日暉	神奈川大学	108位	33:31
前田 将太	大東文化大学	115位	34:07
団体 15位			



# ホクレン・ディスタンスチャレンジ2017大会要項(案)

## 大会コンセプト

開催都市の観光促進、地域振興に繋がり、住民に喜ばれるイベントとして中長距離シリーズを開催し、国際競技会で活躍できる中長距離選手の育成・強化を図る。

- 主催  
北海道陸上競技協会
- 共催  
日本実業団陸上競技連合、士別市、深川市、北見市、網走市
- 後援  
北海道新聞社、北海道文化放送、読売新聞社
- 主管  
道北陸上競技協会、空知陸上競技協会、オホーツク陸上競技協会
- 協賛  
ホクレン
- 運営協力  
日本陸上競技連盟・強化委員会
- 会場・期日・種目

会場	場所	期日	種目	
			男子	女子
第1戦 士別大会	士別市 陸上競技場	7月2日 (日)	1500m 3000m 5000m	1500m 3000m 5000m
第2戦 深川大会	深川市 陸上競技場	7月6日 (木)	1500m 5000m 10000m	1500m 3000m 10000m
第3戦 北見大会	北見市 東陵公園 陸上競技場	7月9日 (日)	800m 1500m 3000m 5000m 5000mW	1500m 3000m 5000m 10000m 5000mW
第4戦 網走大会	網走市営 陸上競技場	7月13日 (木)	800m 1500m 5000m 10000m 3000mSC 10000mW	800m 1500m 3000m 5000m 3000mSC 10000mW

- ◇ペースメーカーは、主催者が準備する。  
①主催者が準備するペースメーカー以外は認めない。  
②設定ペースについては、事前に協議し決定する。

## 8. 参加資格

2017年度日本陸上競技連盟登録競技者のうち次の一つに該当する競技者。

- 下記の有効期間に参加標準記録を満たした競技者。(トラックのみ有効)
  - 事前申し込み  
第1戦～第4戦 2016年1月1日～2017年6月26日
  - 直前申し込み  
第1戦(士別) なし

- 第2戦(深川) 2016年1月1日～2017年7月3日
- 第3戦(北見) 2016年1月1日～2017年7月6日
- 第4戦(網走) 2016年1月1日～2017年7月10日
- 北海道陸上競技協会が推薦する北海道陸上競技協会登録競技者。
- 日本陸上競技連盟強化委員会が推薦する競技者。
- 日本実業団陸上競技連合が推薦する競技者。  
別紙参加標準記録表の通りとする。

## 9. 申込方法

大会webサイトより所定の様式をダウンロードし、e-mailで5月30日(月)～6月27日(月)18:00までに申し込む。

- \*欠場、種目変更の場合は、各大会の3日前の18:00までに大会事務局に届け出る。
- \*直前の申し込みを認める。各大会の3日前の18:00までに大会事務局に届け出る。
- \*欠場の場合も出場料は、徴収する。
- \*主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づき取扱う。尚、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。

## 10. 参加料

- 事前申し込み(事前申し込み締切日まで) 1種目につき2,000円  
直前申し込み(事前申し込み締め切り後) 1種目につき3,000円  
\*参加料は当日会場で支払うこと。

## 11. 大会事務局

別途定める。

## 12. 強化費

- 記録強化費を支給する。(日本国籍の競技者のみ対象)
- 記録強化費支給基準は、別途定める。
- 記録強化費受給対象者から、該当大会終了後60日を超えて振込口座申請書の提出が無い場合は受給権を放棄したものとみなす。

## 13. 個人情報の取扱について

- 主催者及び共催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し個人情報を取扱う。尚、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
- 本大会はテレビ放送及びインターネット上で動画配信を行うことがある。
- 大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者、共催者及び主催者、共催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。

## 14. 問い合わせ先

エントリー関連担当：強化委員会  
その他全般担当：日本陸連事務局 櫻田(うるちだ)  
TEL: 03-5321-6580 FAX: 03-5321-6591  
e-mail: hokurendc2017@jjaaf.or.jp

## 参加標準記録

種目	7月2日(日) 第1戦 士別大会		7月6日(木) 第2戦 深川大会		7月9日(日) 第3戦 北見大会		7月13日(木) 第4戦 網走大会	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
800m					1'55"00	2'15"00	1'55"00	2'15"00
1500m	3'55"00	4'35"00	3'55"00	4'35"00	3'55"00	4'30"00	3'55"00	4'30"00
3000m	3'55"00 15'00"00 <sup>*1</sup>	9'50"00		9'50"00	3'49"00 13'52"00 <sup>*1</sup>	※5		9'50"00
5000m	15'00"00 (30'00"00) <sup>*2</sup>	17'00"00 (9'50"00) <sup>*3</sup>	13'52"00 (28'45"00) <sup>*2</sup>		15'00"00 (30'00"00) <sup>*2</sup>	17'00"00 (9'50"00) <sup>*3</sup>	15'00"00 (30'00"00) <sup>*2</sup>	17'00"00 (9'50"00) <sup>*3</sup>
10000m			30'00"00 (14'40"00) <sup>*4</sup>	34'00"00 (9'45"00) (16'40"00) <sup>*3,*4</sup>		34'00"00 (9'45"00) (16'40"00) <sup>*3,*4</sup>	28'45"00 (13'52"00) <sup>*4</sup>	
3000mSC							8'50"00 (3'49"00) (13'52"00) <sup>*1</sup>	10'25"00 (4'24"00) (15'50"00) <sup>*1</sup>
5000mW					22'00"00	24'00"00		
10000mW							45'00"00	50'00"00

※1: 1500mあるいは5000mの記録を対象とする。 ※2: 10000mの記録も対象とする。 ※3: 3000mの記録も対象とする。 ※4: 5000mの記録も対象とする。  
※5: 北見大会女子3000mは日本陸連女子長距離強化策に則り、陸連強化推薦者のみ20名程度の特別レースとする。

陸連強化委員会選考基準

2016年～2017年シーズン ①シニア(年齢制限なし)

A. 主要大会順位上位で且つ記録上位者(5000m15'25"以内/10000m32'00"以内)

B. 記録上位者(5000m15'25"以内/10000m32'00"以内)

②U20枠 実業団1～2年目、大学生、主要大会順位上位者(1～2名)

③学連選抜選手(5名程度)

# JAAF公認ジュニアコーチ養成講習会 兼 日本体育協会公認 スポーツリーダー

**目的：**地域スポーツクラブ(スポーツ少年団を含む)、小・中・高校生の部活動において発育発達段階を考慮した、競技者育成のための基本指導ができる指導者を養成する。

**主催：**公益財団法人日本陸上競技連盟、公益財団法人日本体育協会

**主管：**公益財団法人日本陸上競技連盟普及育成委員会、開催陸上競技協会

本講習は教員免許状更新講習の対象となります(申請中)

## 申込方法

(1) 申込期間 2017年6月1日(木)～各会場開催初日の約1ヶ月前

(2) 申込方法 日本陸上競技連盟HPより申込

## 受講料

スポーツリーダー・ジュニアコーチ：25,000円

ジュニアコーチのみ：15,000円

免除適用コース承認校在校生：10,000円

詳細は日本陸上競技連盟HPをご確認ください。

## 【開催日程】

※専門科目、開催日程、場所は変更になる場合がございます。

4月末日現在

会場	日程	会場	申込締切
北海道	9月8日(金)、9月9日(土)、9月10日(日)	函館市千代台陸上競技場	7月31日(月)
岩手県	9月30日(土)、10月1日(日)、10月7日(土)、10月8日(日)	岩手大学	8月18日(金)
宮城県	8月12日(土)、8月13日(日)、9月23日(土)、9月24日(日)	調整中	7月3日(月)
山形県	9月17日(日)、9月18日(月)、12月2日(土)、12月3日(日)	山形県総合運動公園内施設	8月7日(月)
福島県	8月26日(土)、8月27日(日)、9月2日(土)、9月3日(日)	福島大学	7月14日(金)
埼玉県	10月21日(土)、10月22日(日)、10月28日(土)、10月29日(日)	上尾運動公園陸上競技場	9月11日(月)
東京都1	8月18日(金)、8月19日(土)、8月20日(日)	味の素ナショナルトレーニングセンター	7月7日(金)
東京都2	調整中	味の素ナショナルトレーニングセンター	調整中
山梨県	2月10日(土)、2月11日(日)、2月12日(月)	小瀬スポーツ公園中銀スタジアム	1月5日(金)
新潟県	11月4日(土)、11月5日(日)、12月2日(土)、12月3日(日)	新潟医療福祉大学	9月25日(月)
福井県	11月25日(土)、11月26日(日)、12月2日(土)、12月3日(日)	福井運動公園陸上競技場	10月16日(月)
三重県	8月21日(月)、8月22日(火)、8月23日(水)	皇学館大学	7月10日(月)
大阪府	8月13日(日)、8月14日(月)、8月15日(火)	万博記念競技場	7月3日(月)
広島県	1月27日(土)、1月28日(日)、2月3日(土)、2月4日(日)	広島大学	12月18日(月)
山口県	1月6日(土)、1月7日(日)、1月8日(月)	維新百年記念公園陸上競技場	11月27日(月)
徳島県	8月6日(日)、8月7日(月)、8月26日(土)、8月27日(日)	徳島市営陸上競技場	6月26日(月)
宮崎県	11月25日(土)、11月26日(日)、12月2日(土)、12月3日(日)	KIRISHIMA ヤマザクラ宮崎県総合運動公園 KIRISHIMA ハイビスカス陸上競技場	10月16日(月)

# AAA クロスカントリー・ロードランニング委員会会議報告

国際委員会 委員 酒井 勝 充

アジア陸上競技連盟 (AAA) のクロスカントリー・ロードランニング委員会会議が2017年2月24日 (金) に東京で開催された。委員会メンバーとして出席したので以下、報告する。

昨年の会合は、委員長が副会長をつとめる中国陸連がホストとなつて、中国で開催されたが、本年はアジアで最も実績のある東京マラソンの視察を兼ねて東京で開催したいとの強い要望が寄せられ、日本陸連がホストをつとめることとなった。

## 【委員会の構成】

委員会は、AAA 第一副会長でもある中国陸連の Du 副会長が委員長であり、以下、中国、香港、カタール、インドそして日本の5名により構成されている。

今回の会合には、カタールの委員が欠席だったが、一方で、AAA のニコラス事務総長と委員会顧問としてタイ陸連のアリヤマンスコール副会長の出席があった。

このほか、アジアマラソン選手権の運営を支援する会社とアジアプレミアマラソンシリーズを企画運営する会社からそれぞれ担当者がプレゼンのために陪席した。

## 【議題】

今回の委員会会合の議題は次の通り。

- ・委員長による挨拶とアジアの現状説明
- ・アジアのクロカンとロードランニングの状況分析
- ・各国の委員からの現状報告
- ・アジアプレミアマラソン進捗報告
- ・アジア選手権マラソン準備状況報告

## 【マラソン人気とクロカン低調】

本委員会は、クロスカントリーとロードランニングの双方を所管する。

会合の冒頭、Du 委員長からは、双方の競技レベルを世界レベルに高める必要があるとの発言があったが、一方で、アジアにおけるロードランニング人気の高まりを受けて、イベント運営を通して AAA への財政的なメリットが期待できるのではとの考えも示された。

実際、マラソンに関しては、日本だけでなく、中国でも、マラソンがブームとなっており、レース数は年々増加傾向にある。こうした流れを受けて、中国の複数のスポーツプロモーション会社が、AAA にロードランニング関連のイベント等を提案している。2016年には AAA 理事会で承認されたアジアプレミアマラソンシリーズの運営会社からは、年間2000万円を超える協賛金が AAA 陸連に入る見込みであることも報告された。

しかし、アジアにおけるクロスカントリーへの関心は極めて低い。各国の現状報告があったが、アジアでは日本が最も、クロスカントリーを効果的に普及や強化に活用している印象であった。日本でのクロカンへのジュニア層の参加の多さやクロカン 駅伝の事例を参考にアジアとしても、ジュニアユース層への普及に積極取り組むことが確認された。

## 【日本の現状報告と AAA への提案】

委員会会議に先立ち、AAA から各国の実情を問う質問が寄せられており、つぎの内容を会合で報告提案した。

### 〈概要〉

日本では、ロードランニングはたいへん人気があり、5キロから100キロまで1500以上ものレースが毎週どこかで開催されている。健康志向の高まりによりジョギング愛好家が増え、レースへの参加者も増えている。東京マラソンは10年の歴史のなかで絶大な人気を集め参加するには高倍率を突破しなくてはならない。駅伝は、日本の伝統スポーツであり、テレビ中継でも人気がある。他方、クロカンレースの開催数は少ない。中学駅伝などクロカンコースを利用することでジュニア層はクロカンに慣れる土壌ができていく。

### 〈将来的発展に向けての提案や助言〉

・アジア独特の気象条件を鑑み、AAA は加盟団体に対し、高温や高湿度によりトラブルを避けるためスタート時間を考慮するよう働きかけるべきである。

・道路種目の記録が公認されるためには、IAAF/AIMS の距離計測員による計測が必須であるが、アジアにはその数が少ない。AAA は、加盟団体に対し、候補者のセミナーへ参加を促すべきである。

・AAA は情報や知識、経験を共有するような機会を創設すべきである。

## 【他国の現状】

### 〈タイ〉

12歳から14歳対象のクロカンをスタート。しかし若年層のロードランニングは推奨していない。時間をかけてロードに移行すべきと考える。

タイでもロードランニングがブーム。10キロ、ハーフ、フルあわせて年間500レースを数える。しかし、運営がしっかりとしたレースは数少なく、政府や警察は、参加者の安全や群衆コントロールに不安を感じている。

### 〈香港〉

地形的な問題からクロカン開催は困難である。ゴルフコースを利用してレースを開催してはいるが満足できる状況ではない。香港内の18地区の学校がクロカン選手権を開催しているが、ゴルフコース利用のため月曜日にしか実施できない。それでも年々参加者は増加している。レースあたり100人~300人。学校対抗のロードリレーも開催されており、2キロ周回コースを利用している。

域内で160のロードレースが開催されており、最大のレースは2月の香港マラソンであり、10キロ、ハーフ、フルあわせて4万人以上の参加がある。香港ではロードレースの生中継はありえない。

### 〈中国〉

2016年のロードレース開催実績は、フル128、ハーフ234、10キロ116、その他274レースであり、合計280万人が参加している。このうち、122レースは中国陸連共催という位置づけとなっている。クロカンは2015年に貴陽で世界選手権を開催した実績があり、アジア選手権も過去開催した実績がある。2018年大会への立候補も考えている。アジア選手権クロカンを駅伝形式を取り上げることが提案したい。

マラソンは賞金レースとなっているが招待のアジア以外選手のものとなってしまうため、AAA が承認したアジアプレミアマラソンは、中国選手のモチベーションとなる期待がある。

### 〈台湾〉

台湾でもロードレースは人気上昇中で、現在600レースが報告されている。

## 【アジアプレミアマラソン】

AAA 理事会は、昨年、アジアプレミアマラソンシリーズ (APM) の実施を承認した。運営を担当するのは、ヨーロッパを本拠地とする世界的スポーツプロモーション会社の中国支社である。委員会では運営会社からの現状報告がなされた。

APM は、ワールドマラソンメジャーズ (WMM) を参考に、アジアとオセアニアの主要マラソンをシリーズ化し、高額の総合優勝賞金を用意することで、アジア域内のトップクラスのマラソン選手の出場を促し、APM のブランド化を目指しているようである。

APM に対し、世界的自動車メーカー複数をはじめ多くの有名企業が協賛を申し出ていることが紹介され、AAA へは年2000万円、加盟したレースにも運営補助金が支払われるという。

現在、加盟を表明しているのは、北京マラソン、ソウル国際マラソン、バイルトマラソン、ニュー台北マラソン、ゴールドコーストマラソン。日本でも関心を示しているレースがあるという。

## 【アジア選手権マラソン】

アジア選手権マラソンは本年11月26日、中国の東莞市で開催される。同市は、2019年大会とあわせて2回連続でホストすることになっており、AAA に対し、あわせて3000万円の協賛金を支払うという。この大会は、中国のスポーツプロモーション会社が運営を請け負っており、同社の担当者から準備状況の説明があった。同市で開催される既存のレースとの併催であるが、しっかりとしたレース運営が期待できそうである。

# 施設用器具委員会報告(2016-3)

施設用器具委員会

## ◆平成28年度に公認した競技場及び長距離競走路

			第3種 400m 全天候 継続	2017.04.01 ~ 2022.03.31
9323	新潟市南区白根(ハ)	白根総合公園多目的広場~ 21km0975 10km ワイヤー計測	循環 継続	2017.04.01 ~ 2022.03.31
9324	京都府立丹波自然(運)	京都府船井郡京丹波町曾根崩下代110の7 コード番号262030 第1種 400m 全天候	新設	2017.03.31 ~ 2022.03.30
9325	万博記念(競)	大阪府吹田市千里万博公園5の2 コード番号272040 第2種 400m 全天候	継続	2017.03.10 ~ 2022.03.09
9326	国分(運)(陸)	鹿児島県国分清水309		2017.04.01 ~ 2022.03.31
9327	龍ヶ崎市(陸)	茨城県竜ヶ崎市中里2の1の7		2017.03.05 ~ 2022.03.04
9328	富岡市北部(運)(陸)	群馬県富岡市上黒岩1377の1		2017.04.01 ~ 2022.03.31
9329	国府台公園(陸)	千葉県国府台1の6の4		2017.06.10 ~ 2022.06.09
9330	代々木公園(陸)	東京都渋谷区神南2の3		2017.04.07 ~ 2022.04.06
9331	ShonanBMW スタジアム平塚	神奈川県平塚市大原1の1	第2種 400m 全天候 継続 改造	2017.03.15 ~ 2022.03.14
9332	よこすかシーサイド(ハ)	救急医療センター~ ▼21km0975 10km 自転車計測	往復 継続	2017.04.01 ~ 2022.03.31
9333	焼津みなと(ハ)	焼津市新居~焼津市城の腰 ▼21km0975 自転車計測	循環 一部往復 継続	2017.04.01 ~ 2022.03.31
9334	知多(運)(陸)	愛知県知多市緑町8		2017.04.01 ~ 2022.03.31
9335	名張市民(陸)	三重県名張市夏見2778		2017.04.01 ~ 2022.03.31
9336	京都府立山城総合(運)(陸)	京都府宇治市広野町八軒屋谷1		2017.03.05 ~ 2022.03.04
9337	姫路市立(陸)	兵庫県姫路市地中地337の1		2017.03.10 ~ 2022.03.09
9338	奈良県立橿原公苑(陸)	奈良県橿原市畝傍町52		2017.04.01 ~ 2022.03.31
9339	紀三井寺公園補助(競)	和歌山県和歌山市毛見200		2016.11.01 ~ 2022.10.31
9340	米子市営東山(陸)	鳥取県米子市東山町97の1		2017.04.28 ~ 2022.04.27
9304	こまつドーム(長)	小松市林町東交差点付近~こまつドーム前 ▼42km195 21km0975 自転車計測	周回 新設	2017.01.01 ~ 2021.12.31
9305	浜松シティ(ハ)	浜松市役所~四ッ池公園(陸) ▼21km0975 自転車計測	往復 継続	2017.01.15 ~ 2022.01.14
9306	鳥根県立隠岐高等学校屋外運動場	鳥根県隠岐郡隠岐の島町有木字尼寺原1		2016.10.10 ~ 2021.10.09
9307	味の素スタジアム西(競)	東京都調布市西町290の11		2017.03.01 ~ 2022.02.28
9308	八王子市上柚木公園(陸)			2017.03.01 ~ 2022.02.28
9309	藤枝総合(運)	静岡県藤枝市原100		2017.03.05 ~ 2022.03.04
9310	奈良県立添上高等学校(陸)	奈良県天理市樺本町1532の2		2017.03.10 ~ 2022.03.09
9311	高松市屋島(競)	香川県高松市屋島中町374の1 コード番号362030 第2種 400m 全天候	新設	2017.03.31 ~ 2022.03.30
9312	福岡大学(陸)	福岡県福岡市城南区七隈7の45の1		2017.04.01 ~ 2022.03.31
9313	豊川市(陸)	愛知県豊川市諏訪1の80		2017.04.01 ~ 2022.03.31
9314	浪商学園(陸)	大阪府泉南郡熊取町朝代台1の1		2017.05.18 ~ 2022.05.17
9315	岡山吉備高原車いすふれあい(ハ)	県教育センター前~職業リハビリテーションセンター 21km0975 10km ワイヤー計測	循環 継続	2017.04.01 ~ 2022.03.31
9316	香川県立丸亀(競)主(競)	香川県金倉町830		2017.03.31 ~ 2022.03.30
9317	香川県立丸亀(競)補助(競)	香川県金倉町830		2017.03.31 ~ 2022.03.30
9318	川越(運)	埼玉県川越市下老袋388の1		2017.04.15 ~ 2022.04.14
9319	白谷海浜公園(陸)	愛知県田原市白磯5		2017.04.01 ~ 2022.03.31
9320	ひたちなか市(陸)	茨城県ひたちなか市新光町49		2017.04.01 ~ 2022.03.31
9321	正田醤油スタジアム群馬	群馬県前橋市敷島町66		2017.03.15 ~ 2022.03.14
9322	さいたま市駒場(運)	埼玉県さいたま市浦和区駒場2の1の1		

9341	丸山公園(陸)	愛媛県宇和島市和霊町555の1		
	第3種 400m 全天候 継続	2017.03.15 ~ 2022.03.14		
9342	北九州市立梢ヶ谷(陸)	福岡県北九州市戸畑区西梢ヶ谷町20		
	第3種 400m 全天候 継続 改造	2017.03.31 ~ 2022.03.30		
9343	国頭(かいざんフィールド国頭)(陸)	沖縄県国頭郡国頭村字浜502		
	第3種 400m 全天候 継続	2017.03.12 ~ 2022.03.11		
9344	立川公園(陸)	東京都立川市錦町6の29の62		
	第4種 400m 土質 継続 改造	2016.12.01 ~ 2021.11.30		
9345	ちくせい(10Km)	下館総合体育館多目的広場~下館総合体育館駐車場		
	▼10km 自転車計測 往復 継続 一部変更	2017.04.30 ~ 2022.04.29		
9346	小矢部(陸)	富山県小矢部市平桜岡山200		
	第2種 400m 全天候 継続	2017.04.20 ~ 2022.04.19		
9347	豊田市(運)(陸)	愛知県豊田市高町東山4の97		
	第2種 400m 全天候 継続	2017.04.01 ~ 2022.03.31		
9348	関市中池公園(陸)	岐阜県関市塔之洞3885		
	第3種 400m 全天候 継続	2017.04.01 ~ 2022.03.31		
9349	刃物のまち関シティ(ハ)	関市中池公園		
	▼21km0975 10km 自転車計測 循環 継続	2017.04.01 ~ 2022.03.31		
9350	鳥根県立浜山公園(陸)	鳥根県出雲市大社町北荒木1868の10		
	第1種 400m 全天候 継続	2017.04.20 ~ 2022.04.19		
9351	鳥根県立浜山公園補助(陸)	鳥根県出雲市大社町北荒木1868の10		
	第3種 400m 全天候 継続	2017.04.20 ~ 2022.04.19		
9352	峰総合(運)(陸)	長崎県対馬市峰町三根328の11		
	第4種 300m 全天候 継続	2017.03.10 ~ 2022.03.09		
9353	延岡市西階(陸)	宮崎県延岡市西階町1の3800		
	第2種 400m 全天候 継続	2017.03.28 ~ 2022.03.27		

## ◆検定延期が承認されている競技場及び長距離競走路

(2017.04.05 現在)

[岩手]	北上総合(運)(長)	42.195km	2017.03.31 ~ 2017.09.30
[山形]	新庄市(陸)	第4種 400m	2016.10.30 ~ 2017.05.31
[新潟]	高田公園(陸)	第2種 400m	2016.07.01 ~ 2017.06.30
[石川]	輪島(歩)	50km	2017.04.17 ~ 2018.04.15
[広島]	備前市総合(運)多目的(競)	第3種 400m	2016.09.01 ~ 2017.08.31
[鳥取]	倉敷市営(陸)	第3種 400m	2017.06.01 ~ 2018.05.30

## ◆公認が廃止となった競技場及び長距離競走路

(2016.12.22 ~ 2017.04.05)

[北海道]	滝川スポーツセンター室内棒高跳場	室内 棒高跳	2017.01.12 限り
[北海道]	函館(ハ)	21km0975	2017.02.28 限り
[北海道]	新函館(ハ)	21km0975	2017.02.28 限り

[岩手]	奥州前沢公認(30K)	30km	2017.01.18 限り
[東京]	武蔵陵マラソン浅川ゆったりロード(10K)	10km	2017.01.09 限り
[静岡]	ふじのくに新東名	42km195	2016.11.16 限り
[福井]	越前の里	21km0975	2017.06.09 限り
[三重]	伊賀市上野(運)	第4種 400m	2017.03.29 限り
[滋賀]	滋賀県立彦根(総)(陸)	第2種 400m	2017.03.31 限り
[京都]	日吉ダム(ハ)	21km0975	2017.04.19 限り
[兵庫]	加西市立善防中学校(陸)付設(ハ)	21km0975	2016.12.14 限り
[岡山]	高染市営(陸)	第4種 400m	2017.03.29 限り
[徳島]	徳島市(陸)	第2種 400m	2017.04.01 限り
[高知]	高知大学朝倉地区(陸)	第4種 400m	2017.06.30 限り

## ◆種別変更のあった競技場

(2016.12.22 ~ 2017.04.05)

[大阪]	万博記念(競)	第1種⇒第2種 (降格)
[兵庫]	姫路市立(陸)	第1種⇒第2種 (降格)

## ◆名称変更

(2016.12.22 ~ 2017.04.05)

[新潟]	新潟シティ(長)⇒第1新潟シティ(長)
------	---------------------

# 大会観戦ガイド

## 第101回日本陸上競技選手権大会 混成競技 兼第16回世界陸上競技選手権大会 (2017 / ロンドン) 代表選手選考競技会 第33回U20日本陸上競技選手権大会 混成競技

- ▼期日：2017年6月10（土）～11日（日）
- ▼会場：長野市営陸上競技場 長野県長野市東和田632
- ▼アクセス：
  - JR「北長野」駅下車徒歩約20分
  - 長野電鉄「朝陽」駅下車徒歩約15分
  - 長野電鉄バス「運動公園」下車
  - 上信越道「須坂長野東インターチェンジ」より約20分
- ▼種目：男子 〈日本選手権〉十種競技  
 〈U20選手権〉十種競技  
 女子 〈日本選手権〉七種競技  
 〈U20選手権〉七種競技

- ▼問合せ先：
  - 一般財団法人長野陸上競技協会事務局
  - TEL 090-1867-7044
  - ※大会の詳細は日本陸上競技連盟公式WEBサイト内、大会ページ <http://www.jaaf.or.jp/competition/detail/605/> で随時アップします！

## 第101回日本陸上競技選手権大会 兼第16回世界陸上競技選手権大会 (2017 / ロンドン) 代表選手選考競技会

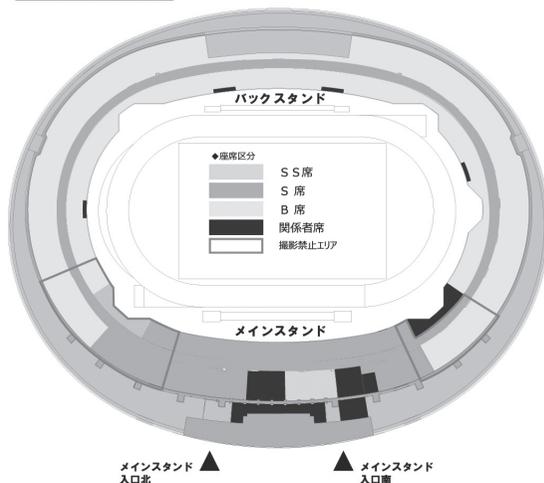
- ▼期日：2017年6月23日（金）～6月25日（日）
- ▼場所：ヤンマースタジアム長居  
大阪府大阪市東住吉区長居公園1-1
- ▼アクセス：
  - 地下鉄御堂筋線「長居」下車。1番出口より500m（徒歩6分）
  - JR阪和線「鶴ヶ丘」下車。東出口より550m（徒歩6分）
  - JR阪和線「長居」下車。東出口より650m（徒歩7分）
- ▼座席図及びチケット料金

### ■6月23日（金）料金表

区分	券種	SS席 <sup>※1</sup> <sub>※2</sub>	S席	A席	B席
前売券	一般	¥3,500	¥2,500		¥1,500
	—	—	—		—
	中高生	¥3,500	¥2,000		¥1,000
	小学生	¥3,500	¥1,800		¥300
当日券	一般	¥4,000	¥3,000		¥2,000
	シルバー	¥4,000	¥2,500		¥1,500
	中高生	¥4,000	¥2,500		¥1,500
	小学生	¥4,000	¥2,000		¥500

- ※1 SS席は、テーブル付席となります。
- ※2 オフィシャルプログラム付（SS席のみ）

### ■6月23日（金）座席図



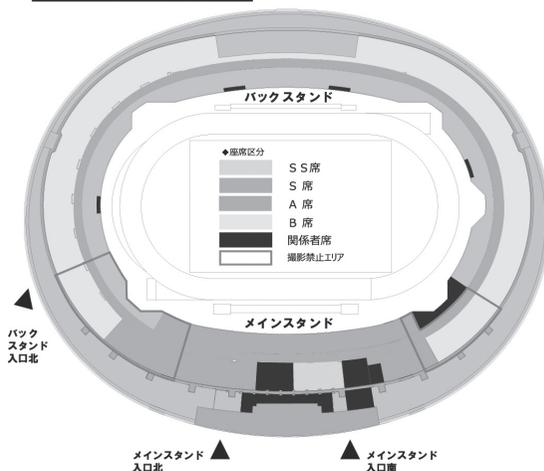
### ■6月24日（土）・25日（日）料金表

区分	券種	SS席 <sup>※1</sup> <sub>※2</sub>	S席	A席	B席
前売券	一般	¥3,500	¥2,500	¥2,000	¥1,500
	—	—	—	—	—
	中高生	¥3,500	¥2,000	¥1,500	¥1,000
	小学生	¥3,500	¥1,800	¥800	¥300

区分	券種	SS席 <sup>※1</sup> <sub>※2</sub>	S席	A席	B席
当日券	一般	¥4,000	¥3,000	¥2,500	¥2,000
	シルバー	¥4,000	¥2,500	¥2,000	¥1,500
	中高生	¥4,000	¥2,500	¥2,000	¥1,500
	小学生	¥4,000	¥2,000	¥1,000	¥500

- ※1 SS席は、テーブル付席となります。
- ※2 オフィシャルプログラム付（SS席のみ）

### ■6月24日（土）・6月25日（日）座席図



## ▼チケット販売概要

### ■販売期間

2017年05月08日(月)10時00分～  
各開催日前日 23時59分59秒まで

※ローソンチケット、e+ (イープラス) 2017年6月21日(水)  
23時59分59秒まで

### ■前売り販売窓口

#### ●チケットぴあ

<http://pia.jp/> (PC/携帯/スマートフォン共通)

TEL: 0570-02-9999 ※要Pコード・自動応答24時間受付  
(毎週火・水 2:30～5:30はシステムメンテナンスのため受付  
休止)

全国のぴあ店舗、セブン-イレブン、サークルK・サンクスにて販売  
【Pコード】835-890

#### ●ローソンチケット

<http://l-tike.com/> (PC/携帯共通)

電話番号: 0570-084-005 ※要Lコード・24時間自動音声対応  
全国のローソン/ミニストップ店頭Loppiにて販売  
(一部お取扱のない店舗もございます)

【Lコード】53415

#### ●イープラス

<http://eplus.jp/> (PC・スマホ・携帯共通)

全国のファミリーマートにて販売  
(毎月第1・第3木曜日 2:00～8:00はシステムメンテナンス  
のため受付不可)

### ■チケット購入時のご注意

※下記内容をご理解のうえご購入ください。

- ・当日券の販売は、開催日当日分のみです。  
※翌日分等の販売は行いません。
- ・購入のチケットは、指定日の当日限り有効です。
- ・3日間通しのチケット販売はありません。
- ・SS席は、テーブル付座席となります。また、SS席のみオフィシャルプログラムがついています。  
(オフィシャルプログラムは、メインスタンド場外テントで販売しております。)
- ・各種チケットはエリア指定です。エリア内はご自由に移動できます。  
※座席指定ではありません。
- ・未就学児は無料ですが、座席をご利用の際はチケットの購入が必要となります。
- ・小学生、中学生の前売り券をご購入された場合、入場口で学生証等の身分証明書の提示を求められる場合があります。
- ・チケットの払い戻しや、差額を払ってのランクアップ購入は出来ません。
- ・座席によっては、競技場内すべてが見渡せない場所もございます。
- ・場内の各通路及び最上段での立ちはだかれません。また、一部エリアでは、競技用機材や放送機材などで使用するため、ご利用できない座席があります。あらかじめご了承ください。
- ・一部には撮影禁止エリアがあります。カメラ、スマートフォン、ビデオ等での動画・写真撮影は禁止です。  
【ご注意】撮影禁止エリアでの撮影を発見次第、媒体没収のうえ、ご退場頂くこともございます。

### ■当日チケット販売について

- ・各券種は、前売の際にチケットが完売した場合、当日券の販売を行いませんのでご了承ください。(販売状況は、各チケット購入窓口や日本陸連HPでご確認ください。)
- ・当日券の販売は、競技場正面前の広場のチケット販売所で行います。
- ・小学生、中学生、シルバー(60歳以上)のチケットは、ご本人様のみ購入・利用が可能です。(購入の際は、学生証等年齢の証明できるもののご提示が必要となります。)

### ■入退場について

- ・開場時間は、天候ほか状況によりやむを得ず変更になる場合があ

りますので、あらかじめご了承ください。

- ・競技場の入口では、手荷物検査を行います。ご入場するのに時間が掛かる事もありますので、余裕を持ってご来場ください。競技場内へのピン・缶他危険物の持ち込みは出来ません。缶・ビンに入った飲料は、入口で紙コップに移し替えて頂きます。(係員が他のお客様への迷惑と判断したものや危険と判断した物品は、持ち込みを禁止させていただきます。)
- ・競技場内にペットは持ち込めません。(盲導犬、聴導犬、介助犬等は入場できます。)
- ・再入場は可能です。再入場の際、チケットの提示と手荷物検査が必要となります。チケットの紛失やお手元がない場合は、再購入となります。

### ■座席の移動について

- ※混雑時のご移動はお控え頂きますようご協力お願いいたします。
- ・SS席をご購入の場合、S席、A席、B席への移動可。
- ・S席をご購入の場合、A席・B席への移動可。SS席への移動及び通過はできません。
- ・A席をご購入の場合、B席への移動可。SS席、S席への移動及び通過はできません。
- ・B席をご購入の場合、SS席、S席、A席への移動及び通過はできません。
- ・SS席からA席まで各エリアへの入場及び移動の際には、係員がチケットの確認を行いますので必ずご携帯ください。

### ■車いす席について

- ・車いす席及び介添え席ご購入は下記、第101回日本陸上選手権大会チケット問い合わせ窓口までご連絡ください。
- ・車いす席は、席数に限りがありますのでお早めにお買い求めください。
- ・介添え席の購入は車いす1席につき1席までとさせていただきます。
- ・会場に到着の際は、場外インフォメーションにお越しください。係員が座席までご案内します。

### ■その他の注意

- ・座席は、チケット1枚につき1席です。お荷物は、膝の上や座席の下に置いてください。
- ・座席の場所取りは、おやめください。他のお客様のご迷惑となるので禁止とさせていただきます。
- ・お荷物だけをお席に置かないでください。不審物等の警戒もしておりますので場合によっては撤去させて頂く場合があります。
- ・置き引き、紛失、お客様同士のトラブル等、個人的被害や自己責任の範囲の事象については、大会では責任を負いかねますので、ご注意ください。
- ・競技場内の階段や通路での立ちはだかれません。危険ですのでおやめください。
- ・事件、事故、災害発生時や警報発令時など有事の際は、係員・警備員の指示に従ってください。
- ・競技場へは、公共交通機関をご利用ください。

### ■チケットに関する問い合わせ先

第101回日本陸上競技選手権大会 チケット問合せ窓口  
電話/FAX: 03-3364-4630  
5月8日(月)～6月23日(金)  
(土曜、日曜、祝日を除く 10:00～18:00)

### ▼問合せ先

日本陸上競技連盟事務局  
TEL: 03-5321-6580 FAX: 03-5321-6591  
(土・日祝日を除く 10:00～18:00)

※大会の詳細は日本陸上競技連盟WEBサイト内、特設ページ  
<http://www.jaaf.or.jp/jch/101/>で随時アップします。





## JAAF SAGA 一般財団法人佐賀陸上競技協会

〒840-0852 佐賀市中折町10-18 高橋正秀様方  
TEL.0952-23-8961 FAX.0952-23-8961  
http://www.sagarikujyo.jp/

2 順目となる佐賀国体まであと6年、佐賀県総合運動場の補助競技場の改修が今年8月より始まる、今まで公認の補助競技場がなかったので、今回日本陸連公認三種競技場の改修となる。メインの第一種競技場の改修については、今年度より佐賀陸協と県との打ち合わせによってどのように改修するかということの話し合いが始まる。

佐賀陸協として、昨年度より県の補助金で国体開催のため各部所審判員主任の視察を行い、審判員の養成を行い、県内小学校、中学校、高校指導者を集め審判員としての技術講習会を開催し審判員の向上と活性化を図りたい。

又、中心選手となる小学生、中学生のタレント発掘事業となるクリニックの開催も毎年開催し選手強化を図っていき、佐賀国体での活躍を大いに期待したい。

今年3月佐賀県鹿島市で関東大学の東洋大、青山大学などの合宿が行われ、地域の小学生、中学生、高校生との長距離陸上教室が開催され箱根駅伝で活躍した選手とのふれあいを子供たちが大いに喜んで参加していた。将来その子たちが箱根駅伝に出場できるよう願っている。

## JAAF KUMAMOTO 一般財団法人熊本陸上競技協会

〒861-8046 熊本市石原2-9-1 熊本県民総合運動公園内  
TEL.096-388-1688 FAX.096-388-1688  
http://www.kumariku.org/

4月1日(土)に熊本県民総合運動公園陸上競技場、新たなネーミングライツ「えがお健康スタジアム」で「第26回金栗記念選抜陸上中長距離熊本大会2017」を開催致しました。多くの著名なランナーをお迎えしての大会は、今年から2017世界選手権派遣設定記録対象競技会になりました。また、来年の大会からは日本陸連の計らいでグランプリシリーズに加えていただくことになりました。今後も更なる大会の盛り上がりを期待し大会の運営にあたります。

さて、本年8月19日(土)～22日(火)には、第44回全日本中学校陸上競技選手権大会が「えがお健康スタジアム」で開催されます。昨年の「熊本地震」でご支援いただいた全国の皆様へ最高の舞台で競技していただけるように、また熊本を存分に楽しんでいただけるように準備を進めております。われわれにとってこの大会は、「熊本地震からの復興」を目指して行うイベントでもありみなさんへの恩返しでもあります。2019年ラグビーワールドカップ会場でもある「えがお健康スタジアム」や2019年女子ハンドボール世界選手権大会の会場になる「パークドーム熊本」もようやく地震の被害からの修復工事も終わり全面使用ができるようになりました。各県の厳しい予選を突破して1人でも多くの選手がご来熊いただけますように心よりお待ちしております。

(文責：第44回全中熊本大会担当 沢田 修)

## JAAF NAGASAKI 一般財団法人長崎陸上競技協会

〒854-0061 諫早市宇都町27-1  
一般社団法人 長崎県公園緑地協会管理事務所分室内  
TEL.0957-21-1921 FAX.0957-47-5411  
http://jaaf-nagasaki.net

### JAAF 公認ジュニアコーチ養成講習会開催

新年早々の1月7日から9日までの3日間、長崎県立総合運動公園陸上競技場において、平成28年度養成講習会を開催し、資格取得に向けて共通科目、専門科目(一部免除者)を履修した本県39名を含め44名の受講生が30時間の専門科目集合講習に臨んだ。講師は日本陸連理事・普及育成委員長の繁田進氏、中京学院大学健康栄養学科専任講師の浜野純氏、佐賀工業高校教諭の丸小野仁之氏の3名と公認コーチ有資格者の本県陸協所属7名が務めた。

1日10時間の座学、実技講習は指導者の役割に始まり、ジュニア期のスポーツ、種目別指導、スポーツ障害等の医学的知識、スポーツと栄養、各種トレーニング等陸上競技に必要な多岐にわたるカリキュラムで構成され、30時間目の筆記試験で終了した。受講者は正月気分も取り払い、寒さの中での実技にも耐え資格取得を目指した。3日間共にした受講生仲間との記念写真が安堵感と競技者育成にかける熱意が漲っていた。



## JAAF OITA 一般財団法人大分陸上競技協会

〒870-0931 大分市西浜1-1 大分市宮陸上競技場3階  
TEL.097-552-7808 FAX.097-552-7806  
http://www.d-b.ne.jp/oita-rik/

2017年度一般財団法人大分陸上競技協会第一回理事会が4月15日に開催され、2017・2018年度の役員改選が行われました。会長には、一昨年から日本陸連の理事・財務委員長でもあります小手川強二会長が引き続き就任しました。

本県陸協の運営と競技力向上、そして、陸上競技の普及の3本柱を軸に一体となってチーム大分として取り組みます。

### 2017・2018年度一般財団法人大分陸上競技協会役員一覧

- 会 長 小手川強二
- 副 会 長 岡松寅明、河野信治、濱本俊夫
- 理 事 長 船越武典
- 副理事長 榮木 一、田嶋弘宣(兼)総務部長
- 財務部長 古庄英之、競技部長、上杉貴志
- 審判部長 高橋順一 強化部長 羽田野明美(兼)女性部長
- 施設部長 宮川 剛 普及育成部長 櫻井 貢
- 理 事 大庭恵一、廣末敬、児玉和也、西村義弘、諸田義信、甲斐浩司、後藤昌一、柴山広、原俊介、大西竜一、中島純一、後藤博文、尾野耕一、小野誠司、豊田剛、元浦啓司、平山勝治、川下喜代人、長光一則、藤沢利光、志賀哲哉、足立完治、遠坂洋行、菅田俊介
- 監 事 波多野正夫 阿南憲治

(文責：強化部長 羽田野明美)

# 陸協NEWS



**JAAF**  
MIYAZAKI

一般財団法人宮崎陸上競技協会

〒880-0022 宮崎市大橋2-6-1 ヤヨイビル5階  
TEL.0985-25-6011 FAX.0985-25-6011  
<http://www.miyariku.org/>

## 陸上短距離陣宮崎市で合宿

日本陸上競技連盟の男子短距離強化メンバーの合宿が3月24～20日に宮崎市のKIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園を拠点に開かれました。昨年夏のリオデジャネイロ五輪の400Mリレーで銀メダルを獲得した桐生選手、山縣選手、飯塚選手、ケンブリッジ選手も含め、計19名がトレーニングに励みました。

28日は練習が一般公開され、ファンや陸上競技関係者、県外も含め、約3500人が訪れる中、五輪メダリスト選手たちはランニングやダッシュの後、バトンパスを重点的に確認するなどして、大きな声援を受けていました。特に、スポーツ少年団で陸上競技をしているという小学生6年生の男の子は、「僕も、桐生選手のように速くなり、将来オリンピックに出てメダルを取りたい」と話していました。

ケンブリッジ選手は「暖かく素晴らしい環境で、質の高い練習ができています。これだけたくさんの方が来てくれてうれしい。(100M・200M) 9秒台、19秒台を狙う」と話していました。

本県はスポーツランド宮崎をピーアールしており、これまでたくさんの各競技団体やプロ野球の各球団、外国からの競技者も合宿を受け入れていました。しかし、日本陸上競技連盟の男子短距離の強化合宿は初めてでした。

宮崎県は二巡目国体開催に向けて、各競技団体がすでに取り組みを始めたところでは、

その中で、宮崎陸上競技協会も、施設の新設や改築に向けて、また、選手の強化、審判員の技術の向上と増員に努力しているところでは、

(文責：審判部長 溝口正喜)

**JAAF**  
OKINAWA

一般社団法人沖縄陸上競技協会

〒900-0026 那覇市奥武山51-2  
沖縄県体協スポーツ会館3階306号  
TEL.098-996-2881 FAX.098-996-2882  
<http://www.jaaf-okinawa.jp/>

今年度のシーズンもスタートして、「走跳投」に於いて好記録が続出しています。中でも、小中高一般の各カテゴリーで全国優勝及び入賞実績を持つ投擲ブロック強化の取り組みについて紹介します。国体終了後に強化指定(特A・A・B)及び推薦選手(小中高有望選手)の選考から始まり、11月より高体連・中体連合同練習会(10回開催希望者全員参加)、投擲合同練習会(20回開催希望者全員参加)、南九州投擲種目合同練習会(12月8日特A・A)、三県投擲選抜合宿(沖縄3月特A・A・推薦)、県外大学合宿(3月8日特A・国体選手)、県外競技会参加(8月特A・国体選手)を実施します。参加者は、「沖縄投擲伝説Tシャツ・スポーツタオル」を購入して、Tシャツにバックプリントされた中高一般記録の更新と全国制覇を目標に取り組んでいきます。コーチングスタッフも県内外での研修を活かした独自のアイデアを出し合い盛り上げています。



(文責：総務部長・投擲アドバイザー 知念信勝)

**JAAF**  
KAGOSHIMA

一般財団法人鹿児島陸上競技協会

〒890-0062 鹿児島市与次郎2-2-2 鴨池陸上競技場内  
TEL.099-259-6053 FAX.099-299-6054  
<http://www3.synapse.ne.jp/karikupage/>

地元で迎える「燃ゆる感動かごしま国体」まで、あと3年。昨年2016年は、鹿児島陸上競技協会設立70周年を迎えた。協会のシンボルマークが決まり、記念式典も開催された。2017年シーズンも先日の県記録会を皮切りに順調にスタートした。

現在陸協では、3年後の国民体育大会に向けて、運営・強化の両面から準備をすすめている。まずは強化対策として、2020年に少年種別に区分される現小学6年生から中学3年生の中から将来活躍が期待される選手約140人を選抜し「鹿児島ゴールデンアスリート(KGA)」と命名し、今後強化・育成を行っていく。是非、この中からかごしま国体で活躍する選手が出てきてほしい。

運営面では、これまで審判員の高齢化が危惧されたが、ここ数年、審判登録も増加し、各部署の国民体育大会時における主任候補を中心に、研修を重ねている。国民体育大会本番では、スムーズかつ正確な運営を目指したい。

競技場については、現在、メインスタンド・エントランスホールの増築改修が行われており、今後、トラック改修などを経て2019年に完成を迎える。

2020年は東京オリンピックも開催される。過去、国内においてオリンピックが行われた後、国民体育大会が開かれたことがなく、運営等の面の充実のみならず、その後の国民体育大会が県内はもとより全国から注目してもらえる大会になるよう準備をすすめていきたい。また今年度は、理事等役員改選にあたる年であり、3年後に迫った地元国体に向けて新役員一丸となって取り組んでいきたい。

(文責：記録部長 中江寿孝)

## 事務局からのお知らせ

### ◆◆日本陸上競技連盟のホームページを新しくリニューアルしました。◆◆

4月17日より日本陸上競技連盟のホームページをリニューアルしました。

陸上ファンの皆様に喜んでいただける情報を積極的に掲載していきます。

公益財団法人日本陸上競技連盟WEBサイト

<http://www.jaaf.or.jp/>



### ◆◆陸上競技ルールブック2017年度版を、4月より全国の書店、ネット書店で販売開始しました。◆◆

陸上競技関係者や愛好家のための2017年度版ルールブックの発売を開始しました。

修改正のあった国際及び日本国内陸上競技ルールを反映し、すべてのルールのほか競技場の仕様、全国の公認陸上競技場一覧などを掲載しているルールブック。

お近くの書店にない場合は、電話またはホームページからご購入いただけます。

お電話でのご注文の場合：0120-911-410（ベースボール・マガジン社 受注センター）

※受付時間 月曜日～金曜日 10:00～12:00、13:00～16:00（祝祭日を除く）

ホームページからご注文の場合：ベースボール・マガジン社のウェブサイトへ。

<http://bookcart.sportsclick.jp>



### 陸連時報編集委員

#### ◇編集委員

横川 浩（陸連会長）  
友永 義治（陸連副会長）  
八木 雅夫（陸連副会長）  
尾縣 貢（陸連専務理事）  
伊東 浩司（陸連強化委員長）  
風間 明（陸連事務局長）  
牧野 豊（陸上競技マガジン編集長）

#### ◇時報編集室責任者

大嶋 康弘  
◇時報編集担当  
繁田 進  
石塚 浩  
青木 和浩  
宮田 宏  
廣瀬 静香

### 陸連時報編集室

〒163-0717  
東京都新宿区西新宿2-7-1  
小田急第一生命ビル17階  
公益財団法人日本陸上競技連盟 内  
TEL 03-5321-6580  
FAX 03-5321-6591  
WEBサイト <http://www.jaaf.or.jp/>  
公式動画サイト <http://japanathletics.tv/>